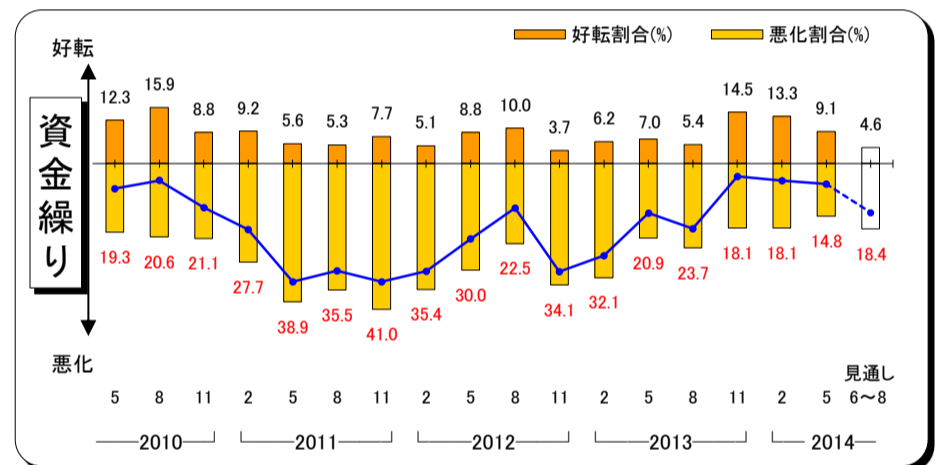
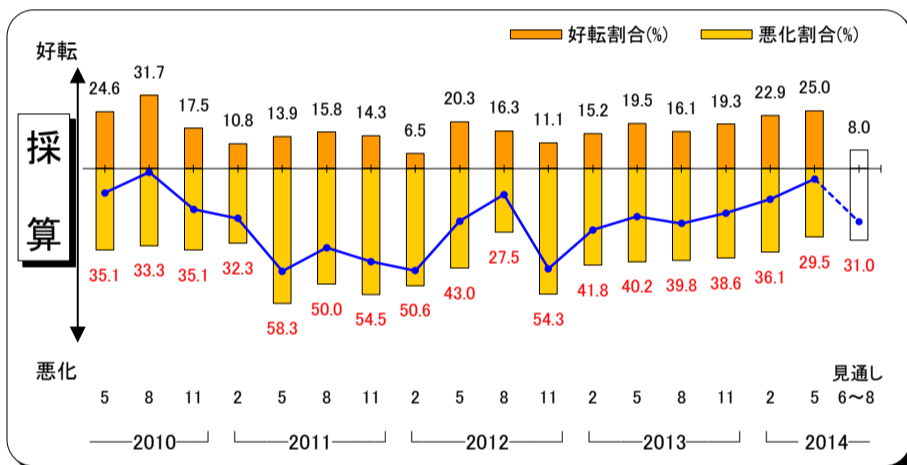
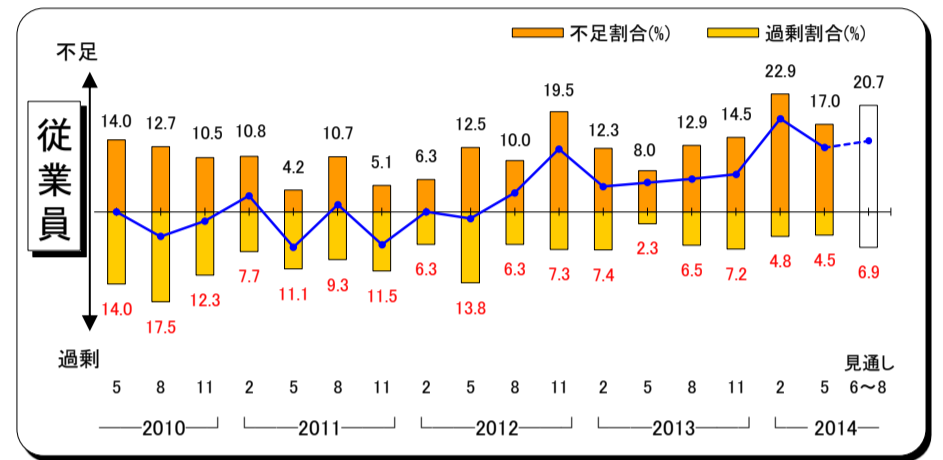
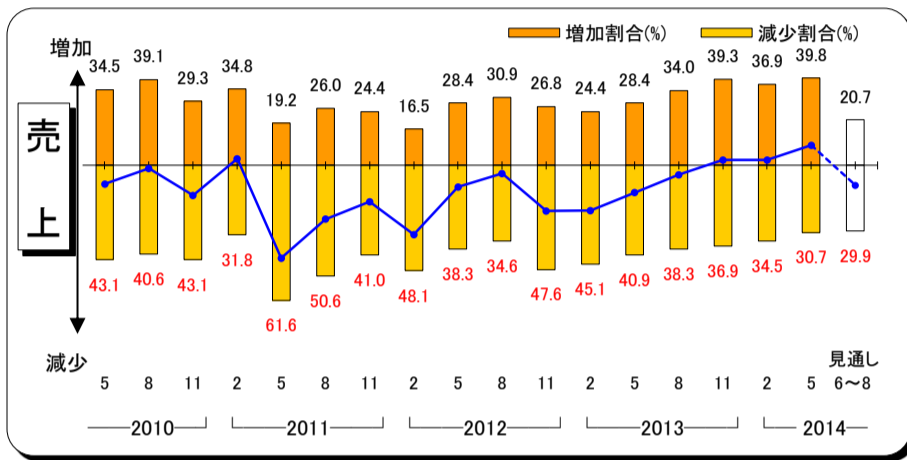
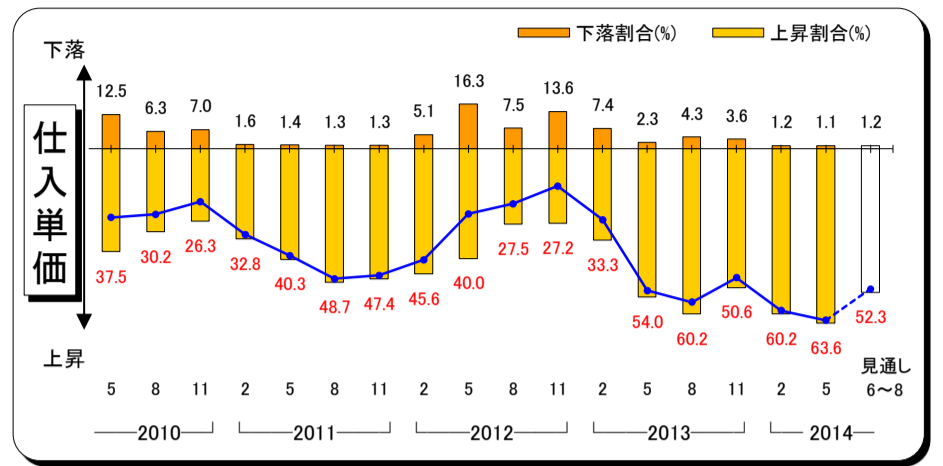
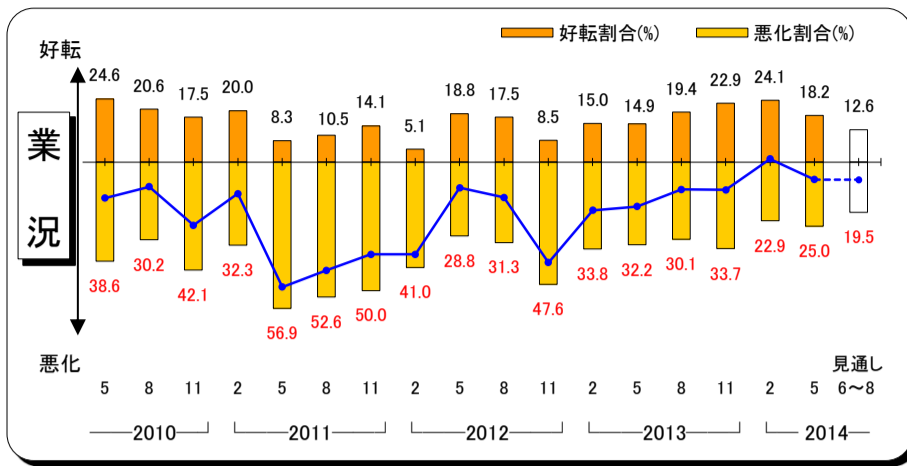


【製造業】①



【製造業】②

企業の声（順不同）

木製家具製造業	年度末と消費増税の時期が重なった為、無駄に残業をすることになりストレスがたまった。時期をずらすぐらいの知恵が政府にないものか。ないだろうな。借金に対してもマヒしている国だから。
オフセット印刷業	消費税率引き上げに伴って、仕入本体価格も上昇しており、その分については転嫁できていません。また、ガソリン・高速代の上昇で、納品に係る費用が増えています。
オフセット印刷業	電気代・ガソリン代が上がった分、売上のマイナスとなる。また、仕入価格の消費税率引き上げ分の転嫁についてはほとんど出来ておらず、特に公立の小・中学校からは、5%税込額をそのまま8%税込額にして欲しいとの要望がある。
オフセット印刷業	消費税率引き上げの影響として、売上高の減少が一番に響く。
コンクリート製品製造業	5月中旬に開催された業界の集まりで得た情報によると、確かに売上は伸びているものの「利益が少ない」そして「消費税率引き上げ分を価格に転嫁できない」など、これからのことを心配している企業がほとんどでした。
建設用金属製品製造業	消費税アップ、材料価格アップ分を販売価格に反映できるかによって、損益が大きく変化する見込み。
建設用金属製品製造業	今現在、思うように受注が伸びてきません。また消費税率引き上げの影響もあり、仕入分の支払が先行するため、資金繰りには気を配っている現状です。業界全体を見ると、受注量が相当に増加に転じ、良い状態になってきたようですが、一部中小企業でも業種によってはまだまだのようです。この先、期待はしていますが・・・。
製缶板金業	動力料、燃料費の高騰が利益を圧迫している。
金属製品製造業	高速代金、ガソリン費の高騰が大きく響いている。従業員の高齢化及び社会保険加入の義務化等が賃金の低下につながり、人材確保が難しいところがある。
物流運搬設備製造業	仕入価格、取引先等における調達や生産・販売拠点に関する海外展開、設備投資、地域経済や地域産業の動向等に注目している。
金属工作機械製造業	建設業界の業況の変化が激しいため、経営が安定しにくいです。取引業界を多角化して安定感を増す努力とともに、新規事業を6月以降立ち上げるため、期待しています。
生産用機械・同部分品製造業	大手企業は好決算であるものの、中小下請企業にはあまり恩恵がないようだ。仕事の絶対量が不足気味なので、加工代金の上昇は難しい。
理化学機械器具製造業	昨年と比べて、客先からの引き合いは増加傾向であるが、受注状況は変わらず。今後、引き合いの増加が具体的な受注の増加になることを期待している。
電子管製造業	2月から5月までは売上、採算とも増加しましたが、6月以降は売上減が続くそうです。8月以降のように設備投資が伸びるか、期待はしています。政府の成長戦略の明確化によって、景気が刺激される事を期待しています。
集積回路製造業	先行き見通しについては、6月度分は見通しがつくものの、7月と8月については、まだ見通しがついていません。当社の場合は消費税率引き上げよりも円安の方が大変です。円安でも販売価格を上げる事が出来ないため、利益率が悪くなります。売上は昨年より良いが、何しろ利益率が悪いです。